

大学入試が、変わる

TEAP

Test of English for Academic Purposes

Test of English for Academic Purposes
アカデミック英語運用能力判定試験



英検

公益財団法人 日本英語検定協会

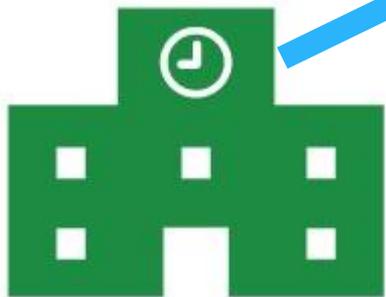
- TEAPについて
- 大学入試でのTEAP採用状況
- TEAP団体受験方法について

高校から大学への「かけ橋」

学習指導要領

日頃から
学校で使っている
教科書・教材

高校



大学入試



4技能テスト

大学



アカデミックな
内容で深化・活用

一般教養・専門教育

TEAPで求めるアカデミックな英語力①

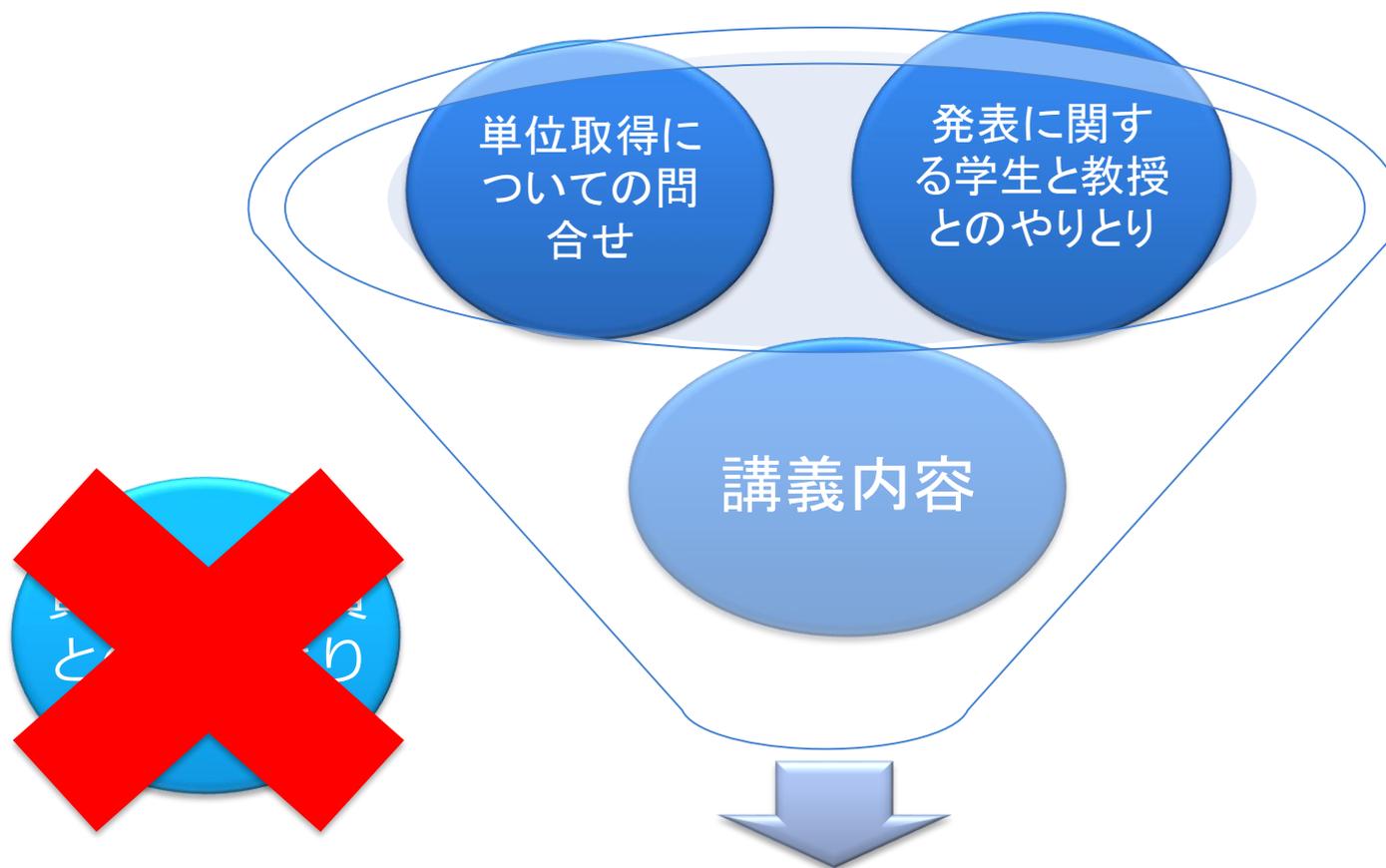


大学授業や学習で取り上げられるような話題・内容を英語で理解したり表現できる力

論理的に考える力

専門的な知識を問うテストではありません

TEAPで求めるアカデミックな英語力②



大学での授業・学習で遭遇する可能性の高い場面・状況

問題のレベルは英検準2級～準1級

英検	センター試験	TEAP
1級		
準1級		
2級	問題のレベル (3級～2級)	問題のレベル (準2級～準1級)
準2級		
3級		
4級		
5級		

4 技能を測定：問題構成とねらい

- Reading/Listening Test、Speaking Test、Writing Testの3つから構成
- RLは同時受験で、必要に応じてS/Wを利用

技能	試験時間	問題数	解答方式
Reading	70分	60問	マークシート（4択）
Listening	50分	50問	マークシート（4択）
Writing	70分	2問	解答用紙への記入
Speaking	約10分	4問	面接（面接官と1対1）

※ SpeakingとWritingの採点は認定された採点者によって行われる。

Writingの問題構成とねらい

Writing ライティング

100点満点

試験時間	70分	問題数	2問
解答方式	解答用紙への記入		
評価方法	認定された採点者による採点		

大問	問題形式	ねらい
Task A 1問	課題文の要約	説明文・評論文などの要約を書く。
Task B 1問	エッセイ	複数の情報(図表を含む)に基づいてエッセイを書く。

Task A 試験の特徴

論説記事などを読み、70語程度の要約を作成します。

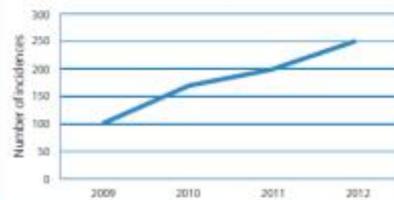
Task B 試験の特徴

複数の情報源(図表を含む)から論点を読み取り、それらを統合したうえで自身の考えを200語程度で展開することが求められます。

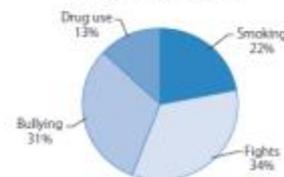
Task B

Your teacher has asked you to write an essay for class using the information below. Describe the situation concerning schools in Greenhill and summarize the main points about the solutions that have been suggested. In your conclusion, say which of the solutions you think would work the best based on the reasons given. You should write about 200 words.

Students' Problematic Behavior at Schools in Greenhill



Incidences at Greenhill schools in 2012



Education News

There are several ways to deal with the problems in Greenhill schools. Mike Parker, the principal at North Greenhill High School, thinks that giving teachers more knowledge about background issues is the first step. Parker talked about his ideas at a recent meeting with parents. "We have to educate teachers better about problems like drug use and bullying," Parker said. He also pointed out that trouble at home can lead to behavior problems at school. "Our teachers need more information about this," he said. Parker wants to hold special classes for teachers this summer. The classes would help them understand the problems young people face.

However, Parker suggested that other steps are also necessary. For example, according to recent studies, students are more comfortable talking to counselors than to teachers. One reason is that students can talk to counselors in private. This allows students to discuss their feelings, thoughts, and personal experiences more easily. "Perhaps most importantly," said Parker, "counselors are trained to be good listeners."

Many schools offer job counseling to students, but not advice about personal problems. Parker wants his school to hire more counselors as soon as possible.

LETTERS TO THE EDITOR

Dear Editor,

The situation at Greenhill schools is serious and requires immediate action. I would like to offer some advice, based on my many years of experience as a junior high school teacher. First, the classes in our local schools are simply too large. Teachers cannot handle so many students at once. Research has shown that when schools reduce class sizes, student performance improves. Teachers can spend more time with each student, and students get to know their teachers better. This may not solve all of the current problems, but it is a good place to start.

I also believe that many teachers do not understand the challenges faced by today's students. The only way to solve this problem is to give teachers better training. For example, they could attend classes to learn about how student behavior is affected by stress at home. The classes could also provide information about new kinds of illegal drugs and what their dangers are. If teachers do not have this type of special training, they will not be able to help students. The problems in our schools will only get worse.

Finally, I want to thank all of our teachers for their hard work.

Sincerely,
Sarah Case

ねらい 複数の文章・図表から問題点と解決策を読み取り、また自分の意見を述べる力を求めます。

Speakingの問題構成とねらい

Speaking スピーキング

100点満点

試験時間	約10分	問題数	4問
解答方式	Examinerとの1対1の面接方式		
評価方法	認定された採点者による採点		
注意事項	試験内容は録音され、採点に利用されます		

大問	問題形式	ねらい
Part 1 1問	受験者の生活に関する質問(質問は複数)	受験者自身のことについて説明する。
Part 2 1問	受験者がExaminerにインタビュー(ロール・プレイ型)	対話における効果的なやりとり(対話のリード)をする。
Part 3 1問	1つのテーマに沿ったスピーチ	与えられたテーマに関して、まとまりのあるスピーチをする。
Part 4 1問	Q & A(質問は複数)	与えられた話題に関する質問に答える。



Part 2 受験者がExaminerにインタビュー(ロール・プレイ型)
下の例題では、「高校の先生にインタビューをする」という設定で受験者が質問を行います。

見本トピックカード

Begin your interview with this sentence: "Hello, may I ask you some questions?"

Ask questions about:

- The grade he/she teaches
- The subject(s) he/she teaches
- Problems in class
- Advice for future high-school teachers

ねらい ロール・プレイ型にすることで受験者が対話を主導し、情報を引出す力を求めます。

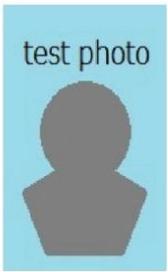
試験の特徴

試験は受験者入室から退室まで連続して録音されます。Part 2では受験者が自ら対話をリードしていくことも求められます。

個人成績表のイメージ



OFFICIAL SCORE REPORT FOR THE TEST OF ENGLISH FOR ACADEMIC PURPOSES

Personal Information		test photo 	TEAP OVERVIEW	
Name	EIKEN HANAKO		Score	CEFR
Date of birth	1995/04/08		Reading	60 B1
Gender	Female		Listening	80 B1
Test date	2014/07/20		Writing	90 B2
TEAP ID	TEAPEIKEN1		Speaking	60 B1
Registration ID	152-056-80015			

技能別スコアと
CEFRレベル

R Reading		
Abilities measured	Level	Advice
Vocabulary and language knowledge	Fair	大学の授業で扱われるような社会性のある話題の英文に数多く触れ、文脈と共に語句の意味や使い方を身につけましょう。反意語や類義語も意識しながら学習しましょう。
Comprehending short texts	Fair	大学の授業で扱われるような社会性のある話題の英文に数多く触れ、文脈と共に語句の意味や使い方を身につけましょう。反意語や類義語も意識しながら学習しましょう。
Comprehending extended texts	Very good	英字新聞や英語の雑誌などで、様々な分野（教育、環境、経済など）の英文に触れる機会を増やしなから、1つの語が持つ様々な意味にも注意して語彙力をさらに伸ばしましょう。
Can-do statements 簡単な内容であれば、まとまりのある英文の要点を整理しながら読むことができる。（講義や研修の課題図書や資料など）内容を理解することができる。（出来事の詳細、相手の意向など）		

学習
アドバイス

Can-do

選べる受験パターン

2017年度 試験日程

	7月23日(日)	10月1日(日)	12月3日(日)
RL 6,000円	○	○	○
RLW 10,000円	○	○	○
RLWS 15,000円	○	○	○

申込期間	5月15日～6月29日	7月24日～9月7日	9月25日～11月9日
コンビニ・郵便局ATM 申込受付	6月18日(日)	8月27日(日)	10月29日(日)
クレジットカード 申込受付	6月29日(木)	9月7日(木)	11月9日(木)

全国12カ所で実施

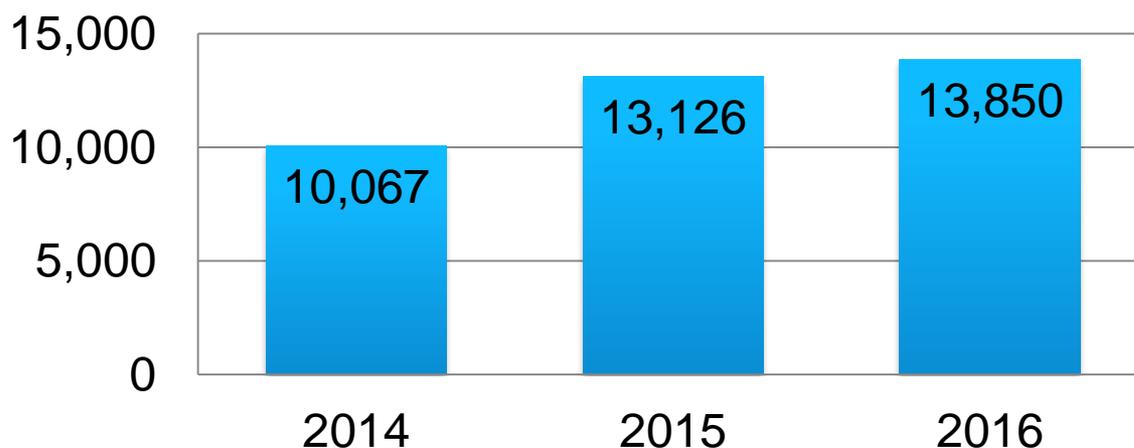
札幌、仙台、東京、
千葉、埼玉、横浜、
静岡、名古屋、大阪、
広島、福岡、金沢



合計:13,850名

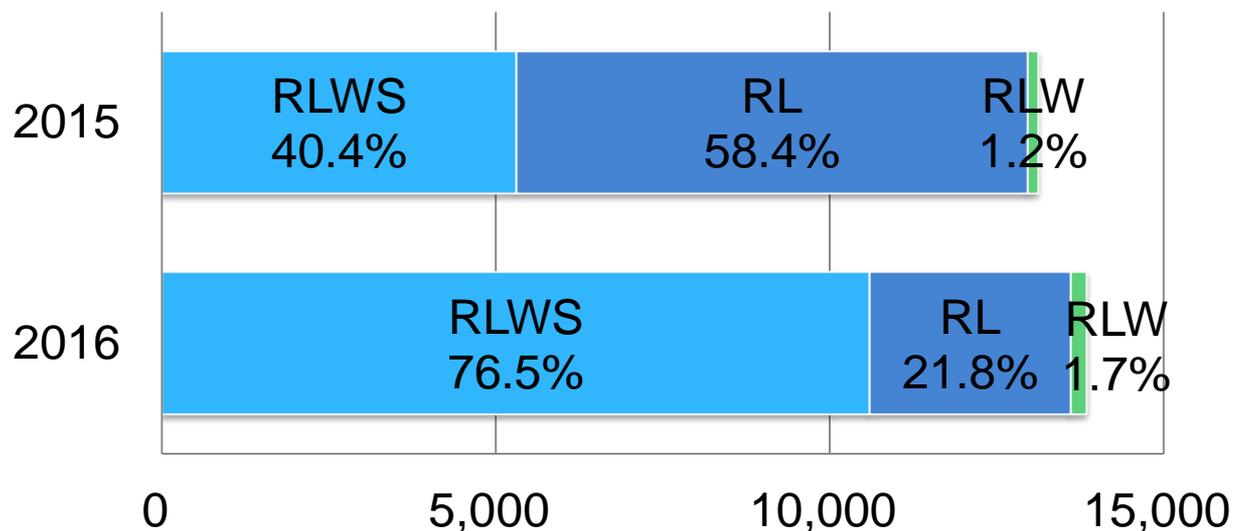
1回目	2回目	3回目	合計
4,739	4,244	4,867	13,850

【結果】 2015年度から5.5%増 (2015年度13,126名)



4技能志願者数が倍増

TEAP 年度別・技能別志願者数	2016年度				2015年度			
	第1回	第2回	第3回※	年度合計	第1回	第2回	第3回	年度合計
RLWS (4技能) 志願者数	3,788	3,184	3,628	10,600	2,196	1,529	1,583	5,308
RLW (3技能) 志願者数	68	82	89	239	43	66	49	158
RL (2技能) 志願者数	883	978	1,150	3,011	2,510	2,407	2,743	7,660
志願者数 合計	4,739	4,244	4,867	13,850	4,749	4,002	4,375	13,126



- 【結果】**
- RLWS志願者は昨年度より倍増
 - RL志願者は昨年度の40%に減少

- TEAPについて
- **大学入試でのTEAP採用状況**
- TEAP団体受験方法について

主要大学の外部検定採用状況

※2017年3月6日『AERA』より抜粋

2017年度主な大学の外部英語検定試験利用入試について

	千葉大	東京海洋大	早稲田大	上智大	東京理科大	学習院大	明治大	青山学院大	立教大	中央大	法政大	東洋大	専修大	南山大	関西大	関西学院大	立命館大	甲南大	龍谷大
英検	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●
TEAP		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IELTS	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
TOEIC		●			●			●			●	●							
TOEIC+SW	●				●	●		●	●			●			●	●		●	●
TOEFL iBT	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
TOEFL PBT		●						●		●									
TOFFL Jr.		●										●			●	●			
GTEC CBT	●	●			●	●		●	●			●	●		●	●	●	●	●
GTEC fs		●										●						●	●
ケンブリッジ英検						●				●					●	●			

- TEAP・英検・IELTS・TOEFL iBTの採用率が高い
- 上智大学は全枠4技能に踏み切り難易度が上がったが志願者はキープ
- 早稲田大学・法政大学・東洋大学は外検利用入試を併願可能な制度とし、志願者を大きく伸ばした

**英検・TEAP
提出率が圧倒的**

上智大学（2017年度入試）

学科	募集人員	TEAP出願基準スコア*2						TEAP CBT (4技能総合点)
		TEAP(総合点および各技能スコア)					総合点	
		R	L	W	S			
神学科*1	10	200	50	40	40	40	285	
哲学科	10	220	60	50	50	50	325	
史学科	10	220	60	50	50	50	325	
国文学科	10	220	60	50	50	50	325	
英文学科	10	280	70	65	65	65	470	
ドイツ文学科	10	220	60	50	50	50	325	
フランス文学科	10	220	60	50	50	50	325	
新聞学科	20	230	60	60	50	50	345	
教育学科	10	230	60	60	50	50	345	
心理学科*1	10	220	60	50	50	50	325	
社会学科	10	230	60	60	50	50	345	
社会福祉学科	10	220	60	50	50	50	325	
看護学科*1	10	200	50	40	40	40	285	
法律学科	26	220	60	50	50	50	325	
国際関係法学科	15	260	60	60	60	60	415	
地球環境法学科	12	220	60	50	50	50	325	
経済学科 注2	20	230	60	60	50	50	345	
経営学科	22	230	60	60	50	50	345	
英語学科	22	300	70	70	70	70	525	
ドイツ語学科	10	260	60	60	60	60	415	
フランス語学科	10	260	60	60	60	60	415	
イスパニア語学科	10	260	60	60	60	60	415	
ロシア語学科	10	260	60	60	60	60	415	
ポルトガル語学科	10	260	60	60	60	60	415	
総合グローバル学科	40	260	60	60	60	60	415	

学科	募集人員	TEAP出願基準スコア*2						TEAP CBT (4技能総合点)
		TEAP(総合点および各技能スコア)					総合点	
		R	L	W	S			
経済学科 注2	5	200	50	40	40	40	285	
物質生命理工学科	20	200	50	40	40	40	285	
機能創造理工学科	20	200	50	40	40	40	285	
情報理工学科	20	200	50	40	40	40	285	

※2017年度入試より全学部・全学科で4技能スコアが必要

※PBT（通常）版

⇒複数回受験した場合、各技能ごとに最も高いスコアを組み合わせ出願することが可能

※今年度よりTEAP CBTも採用

⇒CBTは総合点のみで出願が可能
(技能別最低点はなし)

早稲田大学（2017年度入試より採用）

一般入試 英語4技能テスト利用型 【文学部・文化構想学部】

- **出願要件**としてのスコア提出
- 4技能合計280以上 + 各技能65以上

基準点（4技能合計）

TOEFL iBT	IELTS	TEAP	英検
60	6.0	280	1級／準1級(2016年3月受験まで) CSE2200(2016年4月受験以降)

早稲田大 英語4技能テスト利用型

学部	2017 募集人員	2017 志願者数	倍率
文化構想	70	543	7.8
文	50	368	7.4
Total	120	911	7.6

一般入試「グローバル方式」

- **出願要件**としてCEFR B1レベルの英語力が必要
(異文化コミュニケーション学部のみ**B2レベル**)
- 4技能合計
- 全学部で実施

TOEFL iBT	IELTS	TOEIC & TOEIC SW	GTEC CBT	TEAP	英検
42	4	790	1000	226	2級

明治大学（2017年度入試より採用）

一般入試 英語4技能試験活用方式 【経営学部】

- **出願要件**としてスコア提出＋スコアに応じて**加点**
(外国語以外の試験科目の合計点に加点)

TEAPのスコア基準

	総合点	Reading	Listening	Writing	Speaking
出願要件	230	60	60	45	45
20点加算	260	65	65	50	50
30点加算	280	70	70	60	60

明治大学 英語4技能試験活用方式

学部	2017 募集人員	2017 志願者数	倍率
経営	40	174	4.4

一般入試 B方式／C方式

- 文学部・総合文化政策学部・地球社会共生学部⇒
出願要件
- 経済学部・経営学部
⇒TEAPスコア（2技能）を**そのまま合否に活用**

	方式		出願基準スコア	
	B方式	C方式	2技能	4技能
文学部 英米文学科		●		280 (かつ各技能65)
総合文化政策学部	●		100	
地球社会共生学部	●		110	
経済学部	●		※	
経営学部		●	※	

本日お伝えしたいこと

- TEAPについて
- 大学入試でのTEAP採用状況
- **TEAP団体受験方法について**

TEAPの団体受験方法について

2017年度第2回・第3回のTEAP団体受験校を募集します！

クーポン利用型	団体受験申請された学校（団体）様に「団体受験受け入れ校専用クーポンコード」を発行します。生徒様はクーポンコードを使って、個人で受験申込します。 ※試験日ごとに団体受験申請が必要です。申請内容を確認します。
受験地	全国12都市の公開会場（札幌、仙台、埼玉、千葉、東京、神奈川、静岡、金沢、名古屋、大阪、広島、福岡）
対象	公費助成や学校経費などを利用して学年単位やクラス単位での全員受験を希望する学校（団体）様
受験料	RL6,000円、RLW10,000円、RLWS15,000円
支払方法	受験料の全額または一部を学校（団体）様にご請求します
試験結果	①試験日の約3週間後に受験者へ成績表1通送付（ウェブでも確認できます） ②学校（団体）の責任者様は、成績利用団体登録のうえ、受験した生徒様の成績データを取得し、管理・分析できます

2017年度 クーポン利用型申込スケジュール

	第2回	第3回
実施日	10/1 (日)	12/3 (日)
団体申請期間	6/12 (月) ~7月7日 (金)	8/14 (月) ~9/8 (金)
クーポンコード引渡期間	7/10 (月) ~7/14 (金)	9/11 (月) ~9/15 (金)
お申込受付期間	7/24 (月) ~9/7 (木)	9/25 (月) ~11/9 (木)

申請書の入手・提出方法

お問合せ

- 教育事業部4技能推進課
- 03-3266-8486
- support-kokusai@eiken.or.jp

申請書

- メール添付で以下を送付します
- 団体専用クーポン利用型申請書
- 覚書(規約)

提出

- 申請書に必要事項をみれなく入力
- 覚書に住所・学校名・代表者名を入力
- メール添付にてsupport-kokusai@eiken.or.jp 提出

TEAP団体専用クーポン利用型申請書・覚書

TEAP団体専用クーポン利用型申込申請書

申請年月日 (西暦) 年 月 日

※は記入必須項目です。

申込内容	※ご希望の受験回 (※該当回に○を付けてください)	2017年度	第1回 7月23日(日)	第2回 10月1日(日)	第3回 12月3日(日)	
	※受験パターンと 予定受験人数	4技能 パターン	Reading/Listening+Writing+Speaking			名
		3技能 パターン	Reading/Listening+Writing			名
		2技能 パターン	Reading/Listening			名
※受験者一人当たりの 団体負担額 (補助額)	全額負担				円 補助	

学校情報	※ 学校名	カナ			
	※ 責任者名	カナ			
	※ 住所	〒		-	
	※ 電話番号	FAX番号			

担当者情報	※ 担当部署名	カナ			
	※ 担当者名	カナ			
	住所	〒		-	
	※ 電話番号	FAX番号			
※ メールアドレス	メールアドレスは「フリガナ」(「カナ」)の後に「@」(記号)の後に「ドメイン」(「フリガナ」)を必ず書き添えてください。 (フリガナ) @				

※学校住所と担当者住所が異なる場合は郵便番号・住所をご記入ください。同一の場合は無記入のままご返送ください。

<注意事項>

・請求書はお申し込みの受験人数に基づき作成発行させていただきます。(受験者での請求書はございません)
・クーポンコードは、申込学校(団体)の責任において管理いただきます。申込学校(団体)に所属する受験者以外に
使用させたり、譲渡や貸与する等の行為は固く禁じます。

ご署名欄

上記申請内容に間違いありません。また、注意事項や覚書も理解いたしました。

なお、学校及び協会にて随時発行される「TEAP成績利用団体登録に関する覚書」を理解し、本覚書の規定を遵守することを誓います。

ご返送先

〒162-8055 東京都新宿区横寺町55
公益財団法人 日本英語検定協会
教育事業部 4技能推進課
TEL: 03-3266-8486 FAX: 03-3266-6146

担当者ご署名:

協会使用欄
受験日:
学校ID:
入力者:

TEAP 成績利用団体登録に関する覚書

契約締結日	2017年 月 日	
甲	東京都新宿区横寺町 55 公益財団法人 日本英語検定協会 理事長 松川 孝一	印
乙		印

甲と乙とは、甲が提供する英語試験「TEAP」(以下「当テスト」)を利用した受験者の成績利用団体登録に関して以下のとおり合意し、本契約の締結の証として、本書を2通作成し、両当事者署名又は記名押印の上各自1通を保有する。

第1条 (目的及びサービス)

1. 乙は、当テストを利用した受験者の成績データの取得申請(以下「サービス」)、使用及び保管義務に関する本契約の規定を遵守し、甲は、本契約にしたがって成績データを提供するものとする。
2. 乙は、前項のサービスについて、大学向け成績データ提供システムを利用して成績データを取得する。

第2条 (登録)

1. 乙は、サービスを利用するにあたり申請書による登録申請を行うものとする。申請は郵送その他甲が指定する方法のみを可能とし、申請書には利用団体を管理統括する職位にある者の氏名の記入ならびに校印または捺印の捺印を要する。なお、個人印での申請はこれを認めない。
2. 登録申請を受けた甲は、TEAP 運営事務局(以下「事務局」)にて登録審査を行い、審査通過後、乙に対して団体 ID及びログインパスワード、第2パスワード(以下、ログインパスワード及び第2パスワードを総称して「パスワード」)をメールにて発行する。
3. 甲は、乙が以下の事由に該当する場合は、その登録を抹消することができる。
 - (1) 高等学校等の認可を取り消された場合
 - (2) 登録抹消の希望を申し出た場合
 - (3) 本契約を遵守しない、又は違反した場合
 - (4) 事務局により不適格であると判断された場合
4. 乙は、以下の登録内容に変更が生じた場合は、ウェブサイトより変更の手続きを行うものとする。
 - ・郵便番号
 - ・住所
 - ・電話番号
 - ・FAX番号
 - ・担当部署名
 - ・担当者名
 - ・担当者メールアドレス

第3条 (ID及びパスワードの管理責任)

1. 甲は、乙に対してユーザーID及びパスワードを発行し貸与する。
2. ユーザーID及びパスワードは、利用団体の識別番号になるため、乙は変更できないものとする。
3. ID及びパスワードは乙の責任において管理するものとし、その使用上の誤り又は第三者による不正使用等による損害が生じても、甲はいかなる責任も負わないものとする。
4. 乙は、ID及びパスワードを第三者に使用させる、譲渡し、貸与し又は担保提供する等の行為はできない。

第4条 (成績の利用)

1. 乙は、成績データの取得申請をウェブサイト上でのみ行うことができ、取得に際しては受験者のTEAP受験番号、生年月日が必要となる。乙は、TEAP受験番号、生年月日を受験者から取得する際は、受験者に対して当該個人情報利用目的を周知し、甲が成績データを乙に提供することに関する受験者の同意を取得しているものとする。
- 別添紙の成績表が必要な場合もウェブサイト上での申請が必要となり、紙の成績表の発行には手数料

クーポンコード発行～受験申込

クーポン コード発行

- 申請内容の確認後、クーポンコードを発行します
- 担当者よりクーポンコードをご案内

説明会

- 生徒様対象のTEAP試験紹介・申込方法説明会を実施(必要に応じて)

受験申込

- 生徒様が各自で受験申込

お気軽にお問合せ下さい！

	英検 実用英語技能検定	ティープ TEAP Test of English for Academic Purposes	アイエルツ IELTS International English Language Testing System
試験名			
お問合せ先	英検サービスセンター(団体受付) 電話：03-3266-6581	英検サービスセンターTEAP運営事務局 電話：03-3266-6556	教育事業部 4技能推進課 電話：03-3266-8486 E-mail：support-kokusai@eiken.or.jp
ウェブサイト	http://www.eiken.or.jp/eiken/	http://www.eiken.or.jp/teap/	http://www.eiken.or.jp/ielts/